



# 9月9日は救急の日です 救急の知識は万全？

毎年9月9日を「救急の日」、救急の日を含む一週間（日曜日から土曜日まで）を「救急医療週間」と定めています。救急医療の知識を深め、もしもの時に備えましょう。

問い合わせ 浦添消防本部 ☎875-0105

## 救急の連鎖



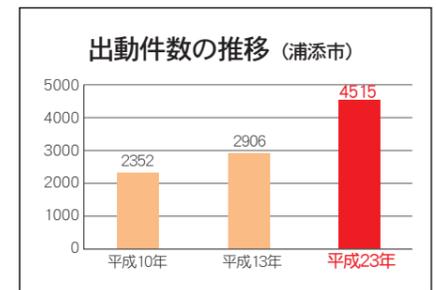
①心停止の予防 ②早い119番通報 ③早い心肺蘇生とAED ④救急隊、病院での処置

突然のけがや病気に備えて  
私たちは、いつどこで突然のけがや病気にあそられるかわかりません。  
また、ついさつきまで元気だったのに、突然、心臓や呼吸が止まってしまつてしまうことも・・・。  
そばに居合わせた人ができる応急手当を救命処置といいます。救命処置について学び、緊急時に備えましょう。

### 救命の連鎖と市民の役割

傷病者の命を救い、社会復帰に導くために必要となる一連の行動を「救命の連鎖」といい、上の図のように四つの過程があります。  
この四つの輪が途切れることなく素早くつながることで救命効果が高まります。  
「救命の連鎖」の最初の三つは、本人および現場に居合わせた皆さんが行動しなくてはなりません。  
現場に居合わせた人が救命処置を行った方が行わない場合に比べて、生存率や社会復帰率が高いことが分かっています。目の前で倒れた人の命

を救うためには、その場に居合わせた「あなた」が救命処置を行うことが最も大切なのです。



救急出動件数は、全国的に年々増加しています。平成23年は4515件で、平成10年と比べて約2倍に増加しています。緊急ではないのに救急車を要請するなどして、出動件数が増加すると、出動可能な救急車が不足し、本当に救急車を必要とする傷病者のもとへ救急車の到着が遅れる恐れがあります。救急車を要請するときは、緊急性があり、救急車以外の搬送手段がないかをもう一度考えてみてください。

心肺蘇生法とAED  
心肺蘇生法は、胸を強く圧迫する「胸骨圧迫」と、口から肺に息を吹き込む「人工呼吸」によって、止まってしまった心臓と呼吸の動きを助ける方法です。

心臓が止まるのは、心臓がブルブルと細かく震える「心室細動」によるものが少なくありません。この場合には、できるだけ早く心臓に電気ショックを与え、心臓の震えを取り除く（これを「除細動」といいます）ことがとても重要です。AED（自動体外式除細動器）は、この電気ショックを行うための機器です。



## 講習を受けてAEDの使い方を学ぼう

消防署では、月に一度、市民の皆さんへ救急法講習を行っています。ご興味のある方は、救命処置が止まらぬよう、講習を受けてみませんか？  
救急法講習の詳細は、お知らせページ(P.20)へ掲載してあります。



## 119番通報で応急手当の指示があります

119番通報をしたとき、傷病者の状態によっては、指令室員から電話を通じて応急手当の指示があります。その場合は指示に従って、積極的に応急手当をしてください。  
もし、人工呼吸の方法がよくわからない場合や、傷病者の口元に血液や嘔吐物がある場合など人工呼吸がためられる場合は、胸骨圧迫のみ実施してください。

## 救命処置の流れ（心肺蘇生法とAEDの使用）



高齢者・障がい者など万に備えたい人のために  
**救急医療情報キット**を活用してみませんか？  
救急医療情報キット（以下、キット）は、急病などの緊急時に備え、あらかじめ必要な医療情報などを保管しておく専用の容器やステッカー、マグネットなどの一式をいいます。  
急病やけが、災害など一刻を争う状況では、痛みや苦しさを医療情報を正しく伝えることが困難になります。駆けつけた救急隊員がいち早く医療情報を入力し、迅速な救命処置、治療につなげることを目的にキットを配布しています。



問い合わせ  
メディカル・インフォメーションセンター  
☎0120-776-689

社課で行っています。  
家族や民生委員、ケアマネージャーなど、代理の申し込みも受け付けています。

### 配布・利用状況

本市では平成22年1月から開始し、平成24年7月末現在で764件のキットが配布されました。  
平成24年7月末現在でキットを活用した搬送がこれまで24件報告されています。

### 活用事例

一人暮らしの80代女性。胸痛・呼吸苦があり会話が難しい状況で救急車を要請し救急隊が到着するも、傷病者との会話は困難。玄関内側に貼られているステッカーを発見し冷蔵庫からキットの容器を取り出し、傷病者の医療情報などを確認し病院への搬送や医師への伝達がスムーズに行えた。

### 対象者および手続方法

市内在住の高齢者や障がい者、健康上不安を抱えている方が対象です。キットの利用や手続は無料ですが、申し込みが必要ですが、申し込みおよびキットの配布は市役所内メディカル・インフォメーションセンター、地域支援課、福